



Kaselehlle

rahn lap
October-08



ポンパイ州はポンパイ語を話します①

タイトルの Kaselehlle もそうですが、ミクロネシアは公用語を英語としつつ、島で主に話されている言語は「ポンパイ語」と呼ばれる島の言葉です。ミクロネシアの主な4つの島々はそれぞれの島ごとに島の言語を持ち、日本語の東京と大阪の方言のようになんとなくイントネーションが違つかいいう少しの変化ではなく、全く独自の言語を持っています。挨拶1つとっても、ポンパイは Kaselehlle、ヤップは、Mogethin、チュークは、Ran anim、コスラエは、Lenwo です。それぞれの頭文字をとって「KAMORALE(カモラレ)」と言えば全ての言葉で挨拶をしたことになると言われてたりする面白いところもあります。とはいえ、島に住んでいたら島の言葉を優先的に使うポンパイの人たち。私も、今勉強中です。日本に戻る頃にはポンパイ語マスターになっているといいのですが...



【青年海外協力隊になるためには③】

青年海外協力隊になるためには第3弾。今回は、合う要件を見つけたら？のお話をしました。今回は、書類選考後の面接の話。書類選考が第一次試験となります。この時点で次の二次試験に進めるかどうかの篩にかけられます。一次試験合格通知が来ると次は二時試験、人物面接と技術面接を行います。いわゆる協力隊への想いや向き不向きに関わる内容が人物面接。それぞれの要請に関わる内容が技術面接となります。私は、前者は短い自己紹介と自分のリフレッシュ方法、困難に思った時の切り替えの仕方などが質問されました。後者では、今までの自身の経歴や強み、具体的な計画、要請が異なった場合でも受けるか、どのような要請で自己を発揮できるかなどでした。整った環境でないところでの活動を意識した質問が多く、事前に想定するために先輩ボランティアさんに話を聞いたりしました。

デザイン印刷 32 冊 新刊のデザイン目録 2024/01/11(木) 22:02:39

トップページ 必ずお読みください

小林 末季さんへのメッセージ

貴殿は、先に実施したJICA海外協力隊 2023年春募集二次選考の結果、合格となりました。詳細はレターボックスと当マイページの「要請情報」をご確認ください。また、期日までに当マイページの「JICA海外協力隊 参加同意書」にてご回答をお願いします。

